

## 常緑（トキワ）ヤマボウシ(ミズキ科 ミズキ属 原産地 中国)



出典：AMILab(sozai)



出典：kawasakimidori

### トキワヤマボウシとは？

普通のヤマボウシは落葉樹ですが、トキワヤマボウシはその名の通り、1年中葉が茂っている常緑樹です。

また、トキワヤマボウシは中国が原産国ですが、普通のヤマボウシは日本という違いもあります。

普通のヤマボウシも花・紅葉・果実ともに美しい樹木ですが、常緑のヤマボウシも庭のシンボルツリーとして魅力的です。果実も美味しく食べることができます。

花の色は白とクリーム、開花期は6～11月ごろです。

### 育て方は？

トキワヤマボウシは苗木の植え付けから始めるのが一般的ですが、植え付け時期は10～11月、3～5月が適期で、寒さに弱いため12～2月は避けましょう。特に大きい苗木で販売されていることが多いので、地植えがおすすめです。

日当たりがよく、水はけの良い場所を好みます。半日陰でも育ちますが、日当たりが少ないと花つきが悪くなるので注意が必要です。植え付ける際は、あらかじめ苗木より2～3割程度大きな穴を掘り、腐葉土を底に入れ堆肥・肥料などをすき込んだ土を用意します。水はけを良くするため地表よりやや高くなるように苗木を植え付け、用意した土を入れわらやバーク堆肥、腐葉土で表面を覆います。しっかりと根付くまでは支柱を添えてください。苗木が幼いうちは花つきがあまり良くありませんが、しっかりと根付いて生長すると花つきも良くなってきます。

### 注意点は？

基本的に樹形が整った状態で生長するため、剪定の必要はありません。剪定する場合は12～2月頃に行い、花芽を切り落とさないように注意しながら枝の分岐している場所のすぐ上で切るようにしましょう。剪定した枝の切り口には、病気の予防に保護材を塗っておきます。大きな枝を剪定した場合はしばらくは花つきが悪くなる場合があります。

注意すべき病気はウドンコ病です。梅雨時期から梅雨が明けるまでの間に葉や新芽に白い粉がかかったようになる病気で、放っておくと樹が弱ってしまうので、殺菌剤をまくなどして対処しましょう。